

川人 綾 個展 Aya Kawato solo exhibition

2018.6.15 (fri.) ~ 7.13 (fri.) 12:00 - 18:00 (日月祝 休廊)

会場 Venue : imura art gallery | kyoto

オープニングレセプション Opening Reception : 6.15 (fri.) 15:00 - 18:00



C/U_m-m_(b)_II (部分)
2018
photo: TEPPEI KONO



C/U_m-m_(b)_II
2018
photo: TEPPEI KONO

この度イムラアートギャラリーにて、画家・川人綾の初の個展を開催するはこびとなりました。

垂直と水平の色彩が織りなされ、織物のような質感を持った川人綾のグリッド（格子）の絵画作品。これらの作品は、マスキングテープとアクリル絵具を用いて幾重にも線を描き重ねるという、手作業の緻密さとダイナミックさをともに要する身体的実践のもと制作されています。

「グリッド」の表現は20世紀以降に発展し、近代芸術における重要な潮流のひとつとなりました。絵画内の一細部として描くのではなく、グリッドそのものを現前させる近代的な表現は、モンドリアンをはじめ、アメリカの抽象表現主義の画家たちや、建築の文脈においても実践されてきました。

川人は、このグリッドという、平面として統御され、幾何学化された表現に、染織という工芸の文脈を取り入れました。手作業によってグリッドを描き重ねることで、「制御とズレ」というふたつの効果の創出を企図しています。無心の作業を重ねていく果てにふと生まれてくる、作家の意図を超えた「ズレ」に宿る美的効果は、ちょうど写真に不意に写り込んだ意図せぬ細部と同じような機微と発見をもたらします。グリッド内部で移り変わる色彩と光の効果からは、絵画の新たな可能性さえも感じさせます。

最新の神経科学への関心を核に持ち、「私達が見ているものと、実際の対象は異なる」という知覚と認知のズレを問題意識に据えた川人綾は、近代絵画以降のグリッドをめぐる美術史の延長において、染織を学んだというバックグラウンドを強みに、着実に自身の表現を確立はじめています。

本展では、新作8点を展示いたします。是非、川人綾の挑戦をご高覧ください。

川人 綾 (Aya Kawato)

略歴

1988年、奈良に生まれる。神経科学者の父のもと、脳を通して世界を把握しているということを強く意識するようになる。京都で日本の伝統的な染織を学んだ後、パリ国立高等美術学校交換留学を経て、東京藝術大学大学院先端芸術表現科を修了。現在、博士後期課程に在籍。「制御とズレ」をテーマに、日本の伝統的な染織や最新の神経科学を背景にもつ、抽象的なグリッド状のペインティングを中心に制作している。「2074、夢の世界」グランプリ、「第11回 Tagboat Award」小山登美夫賞など受賞多数。

個展

2017 AYA KAWATO – C/U_CCLXXX-CXC_(w)_I – | Shonandai MY Gallery / 東京

主なグループ展

2017 Collect 2 | Micheko Galerie / ミュンヘン

2074、夢の世界 | 東京藝術大学 大学美術館 / 東京

群馬青年ビエンナーレ 2017 | 群馬県立近代美術館 / 群馬

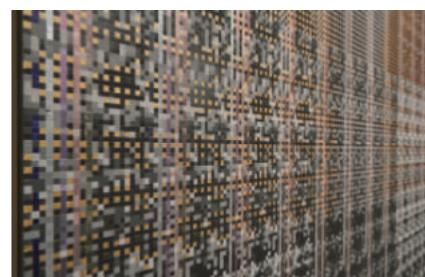
アートフェア

2017 KOGEI Art Fair Kanazawa 2017 | KUMU 金沢 -THE SHARE HOTELS- / 金沢

FIAC | Grand Palais / パリ

Art on Paper | Pier 36 / ニューヨーク

2018 アートフェア東京 | 東京国際フォーラム / 東京



Oriai / 織合い 2017、250×200cm

Acrylic on wooden panel

Fumihito Nagai © COMITÉ COLBERT,
Tokyo University of the Arts

コレクション

2017 シャネル株式会社 / 東京

imura art gallery

〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31
開廊時間：火曜日～土曜日 / 12:00 - 18:00
休廊日：日・月・祝祭日

Tel : 075-761-7372

Fax : 075-761-7362

E-mail : info@imuraart.com



京阪電車：「神宮丸太町」4番出口より徒歩3分
市バス：「丸太町京阪前」下車徒歩2分